

厚生労働省 信頼向上作戦

若手P T・Fチーム
(コミュニケーションカチーム) の提案

厚生労働省の目指すところ

厚生労働省の担う社会保障制度をはじめとする政策・施策は、
国民の**信頼**に基づいて初めて存在しうる
制度の充実重要であるが、それだけでは国民の信頼を得ることができない



①
新しい制度を
つくりました
安心してください

恒久的に有効な制度をつくらない限り、将来的には何らかの問題が生じ、「安心」は裏切られる可能性がある

②
新しい制度をつくりました
信頼してください

国民にリスクテイクが必要なことを説明し、納得してもらうことで「信頼」に基づく制度の運用を目指す

③新しい制度を**一緒に**
つくりましょう

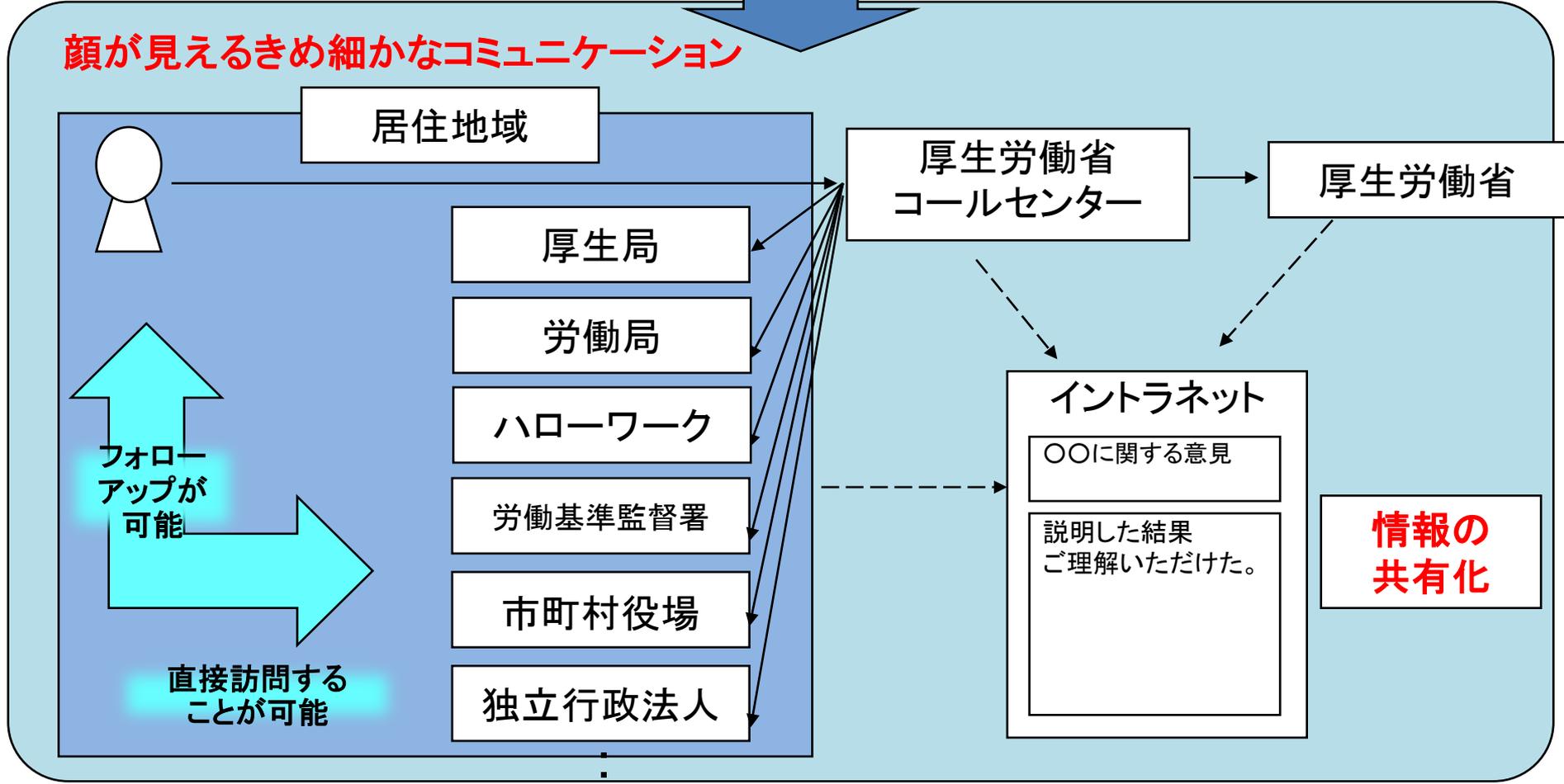
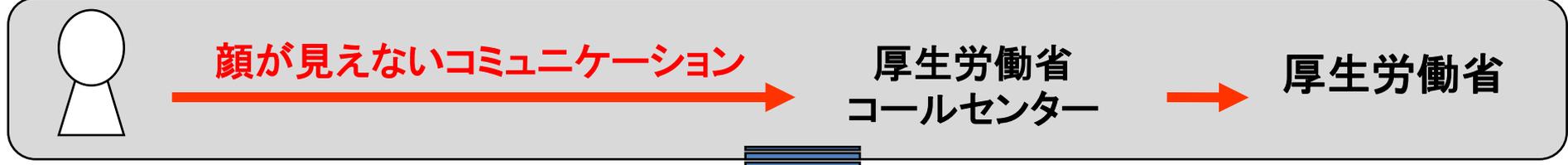
政策決定プロセスを国民と共有し、「与える」コミュニケーションから「巻き込む」コミュニケーションへ

厚生労働省信頼向上作戦

コミュニケーション力向上に向けた5つの提言

- 提言 1. 厚生労働省の体質改善
- 提言 2. 国民を向いたコミュニケーションの実施
- 提言 3. 行動変容施策等のアウトソーシング促進
- 提言 4. 情報提供強化～IT戦略～
- 提言 5. 国民参加型・政策決定過程等の
「見える」行政

提言例①国民を向いたコミュニケーションの実施 ～コールセンター改革（イメージ）～



提言例②国民参加型等の「見える」行政 ～厚生労働科学研究費等による 「科学技術コミュニケーター」の設置～



生命に関する
科学技術等に
関心があるけど、
それを深める機会が
十分でない…

1,400以上の研究班をサポートしている
厚生労働科学研究費において、
「科学技術コミュニケーター」を設置

科学技術と社会に関する世論調査 (平成22年1月内閣府調査)

- ・ 科学技術に関心がある：63%
- ・ 生命に関する科学技術や医療技術の話を聞いてみたい：52%→57%（内数）
- ・ 科学技術への関心と理解を深める機会や場が十分にあるとは思わない：58%



提言例③ 情報提供強化～IT戦略～ 厚生労働省ホームページと その周辺を取り巻くサービス

